

# 業績目録記入要領

I 記載にあたっては、下記の項目毎に欧文・和文に分けそれぞれ年月日の古い順に記載し、番号を付して下さい。なお、原著と症例報告については査読のあるものに限りです。

1. [著 書]

学術単行書に相当するもので、研究内容を記述したもの。担当した章とページ、編集者名、出版社名などが明らかであること。一般の啓蒙文（教養・指導に関わる文）または **Proceeding** などに掲載された論文要旨などは含まない。

2. [総 説]

学術雑誌または学術単行書に掲載されたもので、一定の学術領域の問題について賛否両論を取り上げてまとめ記載したもの。**reference** が掲載されていることが必要。欧文の総説論文には、掲載誌の最新のインパクトファクターを記載する。

3. [原 著]

学術雑誌に掲載されたもので、査読のあるものに限る。すべての欧文原著論文には、掲載誌の最新のインパクトファクターを記載する。

4. [症 例 報 告]

業界誌あるいは学会誌などへの症例報告で、査読のあるものに限る。

5. [その他学術雑誌に掲載された論文等]

学会の論文要旨集、**Proceeding** などに掲載された論文要旨または **supplement**、また商業雑誌、特定の業界の広報誌などに掲載し、教育・研究に関与した課題を取り上げたもの。特許等の取得と出願状況。但し、教育研究に関わらないものは除く。

6. [国 内 学 会]

(イ) 特別講演、招待講演、教育講演

(ロ) シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

※ 一般講演の記載は必要ありません。

(業績一覧に件数を記載してください。)

7. [国 際 学 会]

(イ) 特別講演、招待講演、教育講演

(ロ) シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

(ハ) 一般講演

II 主要論文(10編)の番号には○印を、また、学位論文の番号には、◎印を付して下さい。

III 印刷中 (in press) の論文については、その旨を記載し、掲載受理証明書を添付して下さい。

# 業績目録 (著書、学術論文、学会発表等の別にそれぞれまとめて記載してください。)

年 月 日

氏 名 兵 庫 太 郎 ④

著書 (著者・題名・書名 (編者)・初頁～終頁・発行所・年)、学術論文 (Pub. med. 形式に従い記載)  
学会発表 (演者・演題名・学会名・開催地・年)  
(①著者又は演者全員の氏名を記載順に記入し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと)  
(②欧文論文については、掲載誌の最新のインパクトファクターを記載すること)

## 著書

(欧文)

1. Nishinomiya J. and Hyogo T. Interleukin 18. In: The Cytokine Reference, (Oppenheim, J. J., Feldmann, M., Duram, S., Hirano, T., Vilcek, J. and Nicola, N.A. eds.), 337-350. Academic Press, 2000.

(和文)

1. 兵庫太郎. 末梢性多発性ニューロパチー①分類・病態・診断. 西宮次郎 編. ペインクリニックと東洋医学. 625-628、東京：真興交易, 2004：625-8

## 総説

(欧文)

1. Hyogo T., Interleukin-18 regulates both Th1 and Th2 responses. Annu. Rev. Immunol. 19, 423-474. 2001 (IF 52.761)

(和文)

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. 腸管寄生虫感染と宿主応答-IL-18 の線虫感染防御作用-. 蛋白質・核酸・酵素, 54(増刊), 1066-1072. 2009

## 原著

(欧文)

1. Hyogo T. and Nishinomiya J., Interferon- $\gamma$  is a therapeutic target molecule for prevention of postoperative adhesion formation, Nat. Med., 14, 437-441. 2008 (IF 22.462)

(和文)

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. アキレス腱付着部断裂を生じた治療抵抗性のライター症候群の一例. 日本臨床免疫学会会誌 2008;31, 113-118

## 症例報告

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. 特発性一過性大腿骨頭萎縮症にcore decompressionを行った1例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 2010;53:321-322

著書（著者・題名・書名（編者）・初頁～終頁・発行所・年）、学術論文（Pub. med. 形式に従い記載）

学会発表（演者・演題名・学会名・開催地・年）

（①著者又は演者全員の氏名を記載順に記入し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと）

（②欧文論文については、掲載誌の最新のインパクトファクターを記載すること）

#### 国内学会

##### 特別講演、招待講演、教育講演

1. 兵庫太郎, ラットの舌咽神経上神経節内の軟口蓋, 舌根及び咽頭に分布するCGRP免疫陽性ニューロン. 第 115 回日本解剖学会総会. 2010.3 盛岡

##### シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

1. 兵庫太郎, 慢性非がん性痛における長期オピオイド療法における嗜癖, (シンポジウム) 日本ペインクリニック学会第 44 回大会 2010.7 京都

#### 国際学会

##### 特別講演、招待講演、教育講演

1. Hyogo, T. and Nishinomiya, J., Our experience in using JSPEN guideline for surgery and critical care -Early enteral feeding in surgery and intensive care. 2nd annual meeting of Chinese Society for Parenteral and Enteral Nutrition, Nanjing, China, 2007

##### 一般講演

1. Hyogo, T. and Nishinomiya, J., Sevoflurane suppresses surgical site infection compared to propofol. Annual Meeting of American Society of Anesthesiologists, New Orleans, U.S.A., 2009